

今月のキラキラさん

柏崎総合医療センター 看護師
石丸 善行(イシマル ヨシユキ)

中央看護専門学校を卒業し、2007年に入職。豊栄病院を経て柏崎総合医療センターへ。日本糖尿病療養指導士の資格を生かして患者さんへの指導や相談に応じる。



柏崎総合医療センター
の看護師紹介動画は
コチラ▶



患者さんへの思いやりが深く、厚い信頼を寄せられる石丸看護師。
その目線は「糖尿病患者さんを守る」という未来に向かっていきます。

— 日本糖尿病療養指導士の資格を取得しようと思ったきっかけは？

職場の先輩に勧められたことです。当時は自分が糖尿病に重点を置いた看護をやりたいのか確信が持てなかったのですが、資格を取得して患者さんと接するうちにやりがいを感じるようになりました。資格があることで、専門的な知識を裏付けとして患者さんに丁寧な支援ができるようになり、いい結果が得られると患者さんと一緒に喜ぶことができるのがうれしいです。

— これまでで印象に残っているエピソードはありますか？

以前、1型糖尿病(生活習慣に関係なく主に自己免疫によって引き起こされると言われている糖尿病)の患者さんで妊婦の方がいました。出産に向けて産科と密に連携をとり、インスリンの投与量を精密に調整する機械をつけて細心の注意を払いながら血糖をコントロール。赤ちゃんが無事に生まれた時は涙しましたね。また、インスリン

注射を怖がってなかなか自分でできなかつた若い患者さんを担当したこともあります。治療支援を通して自分で注射ができた時の彼のガッツポーズは今でも忘れられません。

— 今後取り組んでいきたいことはありますか？

不安を抱えて外来を訪れる患者さんに寄り添い、安心して通っていただける場を作りたいです。また糖尿病は「病気になったのは自己責任」「暴飲暴食をしたせいだ」という負のイメージがありますが、それだけではありません。そのような世間の偏見をなくしていけるような情報発信をできたらと思います。

今年には能登で災害が続ぎ、インスリンなどの薬が欠かせない糖尿病患者さんを災害時にどう守るかという課題も突きつけられました。柏崎総合医療センターのDMAT(災害派遣医療チーム)や地域の関係者とも連携し、災害時の対応を考えていきたいと思っています。